



## 9月定例会

## ピックアップ



## 補正予算の主な質疑

補正総額 (一般会計) 16億8,696万円  
(特別会計) 1億1,781万円

## 寄附金

## ふるさと燕応援寄附金

2億600万円

市外からの寄附者（ふるさと納税）に対し、燕市の特産品を贈呈することで、魅力を新たに発信し交流人口や応援人口の拡大を図ります。

**問** 当初予定額1億2,000万円を大幅に上回っているが、その要因は何か。

**答** インターネットでの納付が可能になり、お礼の記念品も人気のお米や、金属タンブラーほか、約100種類の中から選べることなどが考えられる。また、9月末で約2億円が寄附されており、今後も、大幅な増加が見込まれる。

## 民生費

## 吉田地区介護施設整備等に係る事業

1億6,000万円

新潟県介護基金整備事業補助金の活用により、新設の認知症高齢者グループホーム・居宅介護高齢者生活支援施設「長善のさと」へ6,400万円。他グループホーム3カ所に増築工事費として9,600万円を補正するものです。

**問** 着工予定地の所有者と開設時期は。

**答** 吉田福祉会の所有地である、粟生津地区に来年春の開所を予定している。



金属酒器で乾杯

## 総務費

## 東京つばめいとUターン支援

## 体制構築事業

2,200万円

地方創生先行型交付金上乗せ分を活用した事業で、燕市とのつながりを継続しながら故郷とのかわりを大切に「就職情報発信や転職支援マッチング」を進めます。若者の移住や定住を図るために交流会やイベント等を行い、将来的なUターンを促します。

**問** 現在の会員数は67名だが、今後の見通しはどうか。

**答** ホームページを活用し、会員外の方からも興味を持っていただき、広く見ていただけるページを委託し、立ち上げて会員の拡大に努めていきたい。

**問** 事業継続のためにも、企業から会員登録してもらい、また経費の負担もお願いできないか。

**答** 企業の情報収集のために商工会議所にも協力をあおぎ、掲載する企業へも負担をお願いしていきたい。

## 商工費

## 「金属酒器乾杯運動」普及事業

1,000万円

地方創生先行型交付金上乗せ分を活用した事業で、そのうち金属酒器の購入補助金は700万円です。

「金属酒器乾杯運動」に賛同する飲食店等の金属酒器購入費を補助するとともに、WEBを活用した情報発信により「金属酒器乾杯運動」の普及・促進を図ります。また、補助は購入費用の2分の1で、酒器1個あたり2,500円～5,000円程度を考えています。1店舗当たりの上限は15万円で、金属酒器購入個数は10個以上です。

**問** 店によっては500人規模のパーティーもある。1個5,000円として250万円もかかる。協力しようにも負担が大きすぎるのではないか。

**答** 限度額15万円の変更は考えていない。